



使徒継承

七十人の一人、聖タダイ（Addai）から現在に至る

この継承の系譜に連なる

主教

Garland F. Byers, Jr., J.D., D.D.

諸国民への主教、使徒的委任のもとに



1. 聖タダイ（Addai）、七十人の一人^{CO}

紀元30年頃、七十人の一人としてキリストに遣わされた（ルカ伝福音書10:1）

この使徒継承の系譜は、紀元30年頃の使徒タダイ（Addai）から今日にまで及び、2026年現在で1,996年にわたる。

聖タダイ（Addai）から東方教会のカトリコス総主教Shimun XVIII Rubilに至る継承は、アッシリア東方教会が保持するカトリコス総主教の名簿に従っている。これは、東方教会が自らの使徒継承を聖タダイ（Addai）および使徒聖トマスにまでたどる、その同じ名簿である。

聖タダイ（Addai）は、東方の諸教会によって七十人の一人である使徒として崇敬されている。すなわち正教会は8月21日に彼の祝日を守り、1月4日に共に記念される七十使徒の中に彼を数えている。またアッシリア東方教会、カルデア・カトリック教会およびシリア正教会は、彼をエデッサの使徒として崇敬している。歴史家エウセビオスは紀元325年頃、聖トマスがエデッサに「使徒であり、七十人の一人であるタダイ」を遣わしたと記録している。

主教職への聖別は、以下に名を挙げる諸教会を通じて、一人から次の一人へと行われた。

この系譜の主教の中には、聖人としても崇敬されている者がいる。その名の傍らの印は、生涯の聖性のみにかかわる。それはいかなる聖別の有効性にもかかわらない。聖人として崇敬されているか否かにかかわらず、表に挙げたすべての主教は、継承において等しくその位置を占めている。

聖 聖人：英雄的な聖性の生涯を送り、今は神のもとにある者として教会が公に崇敬し、その記憶を暦において記念する人。初代教会では、聖人は信徒とその主教たちの称賛によって認められた。のちには、ローマ・カトリック教会では正式な列聖によって、正教会では列聖（glorification）によって認められるようになった。

福者 福者：ローマ・カトリック教会において、列福された人。列福は聖人としての列聖に先立つ正式な段階である。

C ローマ・カトリック教会により聖人または福者として崇敬されている。

CO ローマ・カトリック教会と正教会の双方で聖人として崇敬されている。

赤 殉教者：信仰のために命をささげた者。

誰が聖人であるかについて、諸教会の見解は常に一致するわけではない。ある教会が、他の教会が崇敬しない人を崇敬することもあり、印はそれぞれの聖人をどの教会が崇敬しているかを示している。

セレウキア・クテシフォン

七十人の一人であり、聖トマスがエデッサに遣わした聖タダイ（Addai）と、その弟子である聖アガイおよび聖マリによって創設された東方教会。セレウキア・クテシフォン、後にバグダードに主教座を置いた東方教会のカトリコス総主教たち。聖アガイから Shemon VII Ishoyahb まで。

2. Aggai	66年頃
3. 聖 Mari ^C	81年頃
4. Abris	121年頃
5. Abraham I	159年頃
6. Yaqob I	190年頃
7. Ahadabui	204年頃
8. Shahlufa	220年頃

9. Papa bar Aggai	280年頃
10. 聖 Shemon bar Sabbac ^{CO} 殉教者	329
11. 聖 Shahdost ^{CO} 殉教者	341
12. 聖 Barba'shmin ^{CO} 殉教者	343
13. Tomarsa	363
14. Qayyoma	377
15. Isaac	399
16. Ahha	410
17. Yahballaha I	415
18. Maana	420
19. Farbokht	421
20. Dadisho	421

21. Babowai	457	49. Theodosius	853
22. Acacius	485	50. Sargis	860
23. Babai	497	51. Enosh	877
24. Shila	503	52. Yohannan II	884
25. Elisha	524	53. Yohannan III	893
26. Paul	539	54. Yohannan IV	900
27. Aba I	540	55. Abraham III	906
28. Joseph	552	56. Emmanuel I	937
29. Ezekiel	570	57. Israel	961
30. Ishoyahb I	582	58. Abdisho I	963
31. Sabrisho I	596	59. Mari II	987
32. Gregory	605	60. Yohannan V	1000
33. Ishoyahb II	628	61. Yohannan VI	1012
34. Maremmeh	646	62. Ishoyahb IV	1020
35. Ishoyahb III	649	63. Eliya I	1028
36. Giwargis I	661	64. Yohannan VII	1049
37. Yohannan I	680	65. Sabrisho III	1064
38. Hnanisho I	686	66. Abdisho II	1074
39. Sliba-zkha	714	67. Makkikha I	1092
40. Pethion	731	68. Eliya II	1111
41. Aba II	741	69. Bar Sawma	1134
42. Yaqob II	754	70. Abdisho III	1139
43. Hnanisho II	775	71. Ishoyahb V	1149
44. Timothy I	780	72. Eliya III	1176
45. Isho bar Nun	823	73. Yahballaha II	1190
46. Giwargis II	828	74. Sabrisho IV	1222
47. Sabrisho II	831	75. Sabrisho V	1226
48. Abraham II	837	76. Makkikha II	1257

77. Denha I	1265
78. Yahballaha III	1281
79. Timothy II	1318
80. Denha II	1336
81. Shemon II	1385年頃
82. Eliya IV	1405年頃
83. Shemon III	1425年頃
84. Shemon IV	1437年頃
85. Shemon V	1497
86. Eliya V	1502
87. Shemon VI	1504
88. Shemon VII Ishoyahb	1539

Shimunの系譜

1553年以降、東方教会が聖アッダイと聖マリの後継者として数える Shimunの系譜のカトリコス総主教たち。Shimun XVIII Rubil まで。

89. Shimun VIII Yohannan Sulaqa	1553
90. Abdisho IV Maron	1555
91. Yahballaha IV	1577
92. Shimun IX Dinkha	1580
93. Shimun X Eliya	1600
94. Shimun XI Eshuyow	1638
95. Shimun XII Yoalaha	1656
96. Shimun XIII Dinkha	1662
97. Shimun XIV Shlemon	1700
98. Shimun XV Maqdassi Mikhail	1740

99. Shimun XVI Yohannan	1780
100. Shimun XVII Abraham	1820
101. Shimun XVIII Rubil	1861

インド

1862年に総主教Shimun XVIIIによってインド府主教に聖別されたMar Abdishoから始まり、各主教はその前に記された主教によって聖別された。

102. Anthony Thondanatt (Mar Abdisho)	1862
103. Luis Mariano Soares (Mar Basilius)	1899

イングランド

1902年にマーシアの主教として聖別された Mar Jacobus から、各主教はその前に掲げた主教によって聖別された。

104. Ulric Vernon Herford (Mar Jacobus)	1902
105. William Stanley McBean Knight (Mar Paulus)	1925
106. Hedley Coward Bartlett	1931
107. Hugh George de Willmott Newman (Mar Georgius)	1945
108. Richard Kenneth Hurgon	1946

スウェーデンとアメリカ合衆国

スウェーデンのBertil Perssonから、この継承を今日に伝えた主教まで。

109. Nils Bertil Alexander Persson	1985
110. Samuel Guido, Jr.	2004

Garland F. Byers, Jr.

2013

東方教会のカトリコス総主教と共有する継承

現在のアッシリア東方教会のカトリコス総主教 Mar Awa III とバイヤーズ主教は、同教会が保持する名簿に従い、聖タダイ（Addai）から Mar Shimun XVIII Rubil（1861–1903年カトリコス総主教）に至るまで、東方教会のカトリコス総主教の継承を共有している。Mar Shimun XVIII Rubil は1862年、バイヤーズ主教の系譜に連なる Mar Abdisho (Anthony Thondanatt)を聖別した。



聖職

按手

2008年8月17日、按手により。ペンシルベニア州パーマーтонаのSt. Paul's Lutheran Orthodox Chapelにて。

主教聖別

2013年4月20日、聖餐の執行の中で按手により。St. Paul's Lutheran Orthodox Chapel（この日はペンシルベニア州スラティントンのAmerican Legion Post 16で集会）にて。

主聖別者

主教 Samuel Guido, Jr.

共同聖別者

Bradley A. Varvil 主教

Michael Byus 主教

James Thompson 主教

奉仕

2013年4月20日、Lutheran Orthodox Church, Inc. において主教聖別を受け、その後同団体において Western North Carolina 教区の大主教を務めた。バイヤーズ主教は現在、同団体に所属していない。

名誉神学博士（honoris causa）、Lutheran Orthodox Church, Inc. より授与、2013年4月20日。

按手および主教聖別の証書は、主教聖別の写真とともに、[主教についてのページ](#)に掲載されている。



本ページの日本語の聖句は、すべて文語訳聖書（旧約：明治元訳、1887年／新約：大正改訳、1917年、日本聖書協会）から引用しています。いずれもパブリックドメインです。本文：[ウィキソース](#)。聖句は抜粋して引用しており、省略箇所は「.....」で示しています。

エデッサの使徒、聖タダイのイコン。板にエンカウスティック（蠟画）、10世紀、アブガル王の三連画より。シナイ山、聖カタリナ修道院。画像出典：[Wikimedia Commons](#)、パブリックドメイン。原画からトリミングおよびサイズ変更を施した。